

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	144140	大迫生活習慣病対策30周年記念事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	1	健康づくりの支援			
目的	健康づくりの意識啓発					
対象	市民全般					
意図	家庭血圧の基準値を作った「大迫家庭血圧測定事業」について広く周知するとともに、血圧管理をはじめとする健康づくり意識の普及啓発を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
家庭血圧測定による健康づくりを推進するための講演会等の実施 ○大迫家庭血圧測定事業30周年記念フェスティバル ○大迫家庭血圧測定30周年記念イベント						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 入場者数	人	計画			1,000	
		実績			874	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①		目標				
		実績				
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	家庭血圧測定事業の開始30年の節目に、その貢献度と価値について、広く市民に再認識してもらおうとともに、健康づくり意識の向上に繋がる事業であり、市が共催することは妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	両イベントともに、家庭血圧測定事業についての周知と健康づくり意識の普及啓発を図る良い機会となった。
	向上余地がある	
	○ 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、講師謝礼、旅費、展示用消耗品・看板案内板費・案内チラシ、各団体や自治体周知用の通信運搬費等が大部分を占めていることから、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	家庭血圧測定による健康管理をはじめ、市民の健康づくりの意識向上に寄与するため、公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
市主催の大迫で開催された「30周年記念イベント」は、大迫研究のきっかけを作った元岩手県立大迫病院長の永井先生がシンポジストとして出席し、先生を慕う住民や研究に参加した住民で会場が埋まった。 市が共催した「30周年記念フェスティバル」は、3名の先生の講演やパネルディスカッションのほか、減塩に取り組んでいる企業による展示コーナーや健康チェックコーナーを設け、健康管理の意識向上につながるイベントとなった。 本大会【30周年記念フェスティバル】・・・入場者数650名（会場：市文化会館） 大迫地域大会【30周年記念イベント】・・・入場者数224名（会場：大迫交流活性化センター） 二つの大会を開催することにより、家庭血圧の基準値を作った大迫家庭血圧測定事業の功績を広く周知できた。また参加者の健康づくりへの意識向上に繋がった。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	02	144140	大迫生活習慣病対策30周年記念事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,025		1,025
財 源 内 訳	国・県				0
	地方債		1,000		1,000
	その他				0
	一般財源		25		25

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	[平成 28 年度 ~ 平成 28 年度]
------	-------	---	------	-----------------------

部重点施策における目標
健康に対する意識が高まっています。

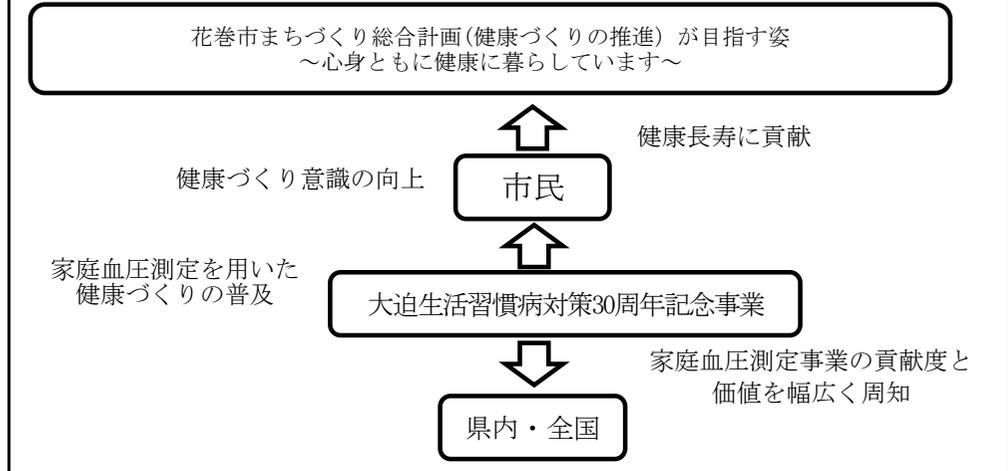
事業開始の背景・経緯
旧大迫町で開始された大迫家庭血圧測定事業の開始30周年の節目に、広く市民に周知するとともに、血圧管理をはじめとする健康づくり意識の普及啓発を図る。併せて、全国に向け本事業の紹介とその有益性について発信する。

事業概要
家庭血圧測定による健康づくりを推進するための講演会等の実施
○大迫家庭血圧測定事業30周年記念フェスティバル
○大迫家庭血圧測定30周年記念イベント

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
家庭血圧測定を軸とした自己管理（セルフケア）の普及啓発を行うことが、今後も必要である。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 及川 道子 内線 390
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【事業の目的】
家庭血圧の基準値をつくり、国際的な貢献度も大きい大迫家庭血圧測定事業について広く周知するとともに、血圧管理をはじめとする健康づくり意識の普及啓発を図る。

- 【事業の内訳】
- 本大会【30周年記念フェスティバル】
 - 記念講演 講演1「家庭血圧測定事業」～大迫での軌跡と合併後の花巻市の展望～
講演2「さあ・家庭血圧を測りましょう！」
特別講演「健康長寿の切り札は、血圧管理から」
 - パネルディスカッション(シンポジウム)
 - 健康チェック(血圧、体組成、PWV(脈波伝播速度)等の測定、塩分栄養診断 他)
 - 展示 (1)減塩食品などの企業展示
(2)大迫家庭血圧測定事業30年の取り組みをパネル展示
 - 大迫地域大会【30周年記念イベント】
 - 感謝状授与
 - 記念講演「大迫家庭血圧測定事業30年の軌跡」
 - シンポジウム
 - 展示(大迫家庭血圧測定事業30年の取り組みをパネル展示)

【事業費】 1,025 (千円)

8節 報償費	講師報償費	150
9節 旅費	講師旅費等	123
11節 需用費	印刷製本費等	727
	30周年記念誌	3,500部作成
12節 役務費	通信運搬費	25